



Special Olympics

Be a fan™

2014年度 ルール変更 対照表

競技名：自転車

変更前の内容	変更後の内容
<p>セクションBーコース</p> <p>道路：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 道路は良い状態で、穴があいておらず、砂利道でないことが望ましい。2. レースの前には、小石、砂利、土などを取り除かなければいけない。下水管はゴムプレートで覆うべきである。自転車競技のコース内の木々の前やコーナーの柱には大量の干草を置かなければいけない。3. レースの進行中は交通を遮断しなければならない。レースコースはできるだけ、一般の車両が出入り出来ないようにする。	<p>セクションBーコース</p> <p>道路：</p> <ol style="list-style-type: none">1. コースレイアウトは、短い距離のイベントでは、2.5km を最適とし、15km を超える距離のレースでは、5km かそれ以上を最適として、概算で2~5km の長さとする。40km イベントでは、これより長いコースでもよい。イベント距離はおおよその概算でもよい。全レースに同じコースを使用してもかまわない。コースは常に輪状にする。コース幅は最低でも7mとする。2. 1km を超えるイベントでは、コースデザインには一番速い選手と一番遅い選手両方のスキルセットを考慮に入れなければならない。往復のコースや 180 度のターンのあるコースは、安全の確保がとても困難であり、使用すべきではない。15km を超える種目では、可能であれば、より長めのコースとし、わずかに難し目の地形のコースとする。3. 道路は良い状態で、穴がなく、砂利道でないこと。 レースの前には、小石や砂利、土を道路から一掃しておく。下水道はゴムプレートで覆っておく。自転車競技のコース内の木やコーナーの柱、カーブにはクッション性のある柵を置いておく。

4. 安全にスタートできるよう、スタートとフィニッシュラインのマーキングはコースの幅全体をカバーしなければいけない。幅は最低 8m であること。

5. ゴールエリアは、最低でも 8m の幅があり、観客がコースに走り込まないように適切に保護する。最終の 200m には、コースのターンやカーブが無いこと。コースのスタート／ゴール地点から最初のターンまでには最低でも 100m の直線道路とする。

6. コース上の標識：最終 1 キロメートルを標識で表示する。ゴール 200m 手前に白い旗を設置する。

7. 全レースに同じコースを使用してもかまわない。レースの距離に応じてスタートラインを調整する。イベント距離はおおよその概算でもよい。ゴールラインは全てのレースで同じ場所とする。コースレイアウトは、短い距離のイベントでは、2.5km を最適とし、15km を超える距離のレースでは、5km かそれ以上を最適として、概算で 2~5km の長さとする。40km イベントでは、これより長いコースでもよい。1km を超えるイベントでは、緩やかな上り坂を含めるべきである。しかしどの選手も肉体的に自転車に乗ってコースを完走できないような困難な坂にはすべきではない。コースは常に輪状にすべきである。

Out-and-back コースは、安全の確保がとても困難である。UCI パラ-サイク

リングルールに従って、目の見えない、あるいは視覚障害のある自転車選手は、存在しないとみなされる道案内がタンデム自転車の後ろに乗って競技をする。

4. レースコースは可能な時はいつでも一般の車両が出入り出来ないようにしておく。レースの進行中は交通を遮断しておく。

5. アスリートが集まったり、ウォームアップを行ったり、クールダウンできる集結地を設けておかなければならない。出場者の安全を確保するために、これらの集結地は他のレースコースと重なってはならない。

6. コースの周りに機械的補助のある修理場所を設けなければならない。その内少なくとも 1 つはスタート/フィニッシュエリアの近くに機材修理ピットを設けなければならない。

7. レースの距離に応じてスタートラインを移動してもかまわない。安全にスタートできる様に、スタート地点の幅は最低 7m なければならない。コースのスタートラインから最初のターンまでには最低でも 100m の直線道路があるものとする。

8. コース上の標識：最終 1 キロメートルを標識で表示する。ゴール 200m 手前に白い旗を設置する。

9. ゴールラインは全てのレースで同じ場所とする。

フィニッシュエリアは最低でも 8m の幅があり、観客がコースに入り込まないように柵や障害物で適切に保護しておく。完走した選手を收容できるようにコースからの安全な出口を計画しておく。

ゴールラインはコースの端から端まで幅全部に引いておく。

最終の 200m には、コースのターンやカーブが無いこと。

選手が難なくスピードを落とせるように、ゴールラインの後は最低でも 75m の直線道路があること。

タイムトライアル：

1. スタートする選手の数が限られていて、かつスタートする選手がコースを周っている選手の邪魔にならない場合のみ、タイムトライアルのコースは 500m と短く取ってもよい。もしコースが輪状の場合、スタート地点から初めのカーブまでは最低でも 100m 離れていること。理想的なコースの長さは 2km である。選手がお互いに追い越す場合、最低でも 1m の間隔を開けて追い越せるように十分な道路幅がなければならない。(4m かそれ以上を推奨する) もしコースレーンが物理的な障害物(柵、コンクリートの仕切り、草地の中央分離帯、あるいは縁石)で分離されている場合は、タイムトライアルコースは往復コースでも良い。タイムトライアルは、スタート地点とフィニッシュ地点が異なる 2 地点間コースでも良い。距離の違う全レースにおいて、ゴールラインは固定とすし、スタート地点を各々の距離に合わせて変更する。

2. 路面は良い状態であり、穴がなく、砂利道でないこと。

タイムトライアルの前には、小石や砂利、土を道路から一掃しておく。下水道はゴムプレートで覆っておく。自転車競技のコース内の木やコーナーの柱、カーブにはクッション性のある柵を置いておく。

3. タイムトライアルコースは一般の車両が入り出来ないようにしておく。

4. コースの周りに機械的補助のある修理場所を設けなければならない。その内少なくとも1つはスタート/フィニッシュエリアの近くに機材修理ピットを設けなければならない。